

平成 29 年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	学校臨床心理(臨床心理)	科目名	英語
---------	--------------	-----	----

受験番号	
------	--

以下は, Absence from School :A study of its causes and effects in seven LEAs という英国での調査研究報告書の summary の一部です。文章を読んで以下の問いに日本語で答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんので、ご了承願います。

平成 29 年度 福島大学大学院人間発達文化研究科入試問題

専攻(領域)名	学校臨床心理(臨床心理)	科目名	英語
---------	--------------	-----	----

受験番号	
------	--

この部分に記載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんので、ご了承ください。

LEA : Local Education Authority

DfES : Department of Education and Skills

EWO: Education welfare officer

出典 : Absence from School : A study of its causes and effects in seven LEAs Heather Malcolm et al The SCRE Center, University of Glasgow

- 問 1 調査対象となった LEA と教師が、学校への登校を重要だと考える理由は何と説明されているか日本語で答えなさい。
- 問 2 下線部 (1) を訳しなさい。そしてそのように考える理由は何と説明されているかを日本語で答えなさい。
- 問 3 学校を休みがちな子どもの親の特徴はどのように述べられているか。日本語で答えなさい。
- 問 4 小学生の **truant** が答える **truancy** の原因はどのようなものがあると述べられているかを日本語で答えなさい。
- 問 5 下線部 (2) についての調査結果に関して、小学校教師と中学校教師の考えの違いを示しながら、日本語で説明しなさい。
- 問 6 教師たちが危惧する、学校を休みがちな児童生徒が通常の登校をしている児童生徒へ与える影響は何と書かれているか、日本語で答えなさい。
- 問 7 下線部 (3) の **first day calling** とはどのようなものか、文中から読み取って日本語で説明しなさい。